

読み書きそろばん - 文化能力の神経メカニズム

中村仁洋先生講演会

国立障害者リハビリテーションセンター研究所
脳機能系障害研究部・高次脳機能障害研究室 室長



歴史的・文化的背景のもとで人工的に作り出された「記号体系」を操作する技能としての読み書きや算術の能力について、(1)これら基礎的な文化能力を支える神経ネットワークの機能構成、(2)いわゆる大脳言語領域や注意・記憶など、より古い神経システムとの関わり、(3)学習段階や外的・文化的要因などに応じて機能的・形態的に変わる（あるいは変わらない）神経メカニズムがあるのか、など最近の論点を取り上げて、関連する脳機能画像研究・症例研究に自験データを交えて紹介する。

【日時】 2011年 5月25日(水) 1700-18:30

【場所】 慶應義塾大学・三田キャンパス・

塾監局 第三会議室

※事前登録不要・会費無料



慶應義塾大学グローバルCOEプログラム

論理と感性の先端的教育研究拠点